

【佑の体験から】

3月11日。僕は公成の家で、友達4人で遊んでいました。皆で買い物に行こうと、立石屋に着いた途端、あの大きな地震が起きました。地震のあまりの大きさに動くことができず、揺れが小さくなるのを待って公成の家に戻りました。一緒にいた友達が、

「津波が来るかもしれない」

と言ったので高台に避難しました。

高台には近所の人たち、十数人も避難していました。避難している時、雪が降ってきたので知らないおじさんに、

「寒いから車の中に入れ」

と言ってもらったので車の中に入りました。車に乗ってすぐに公成のお母さんが来てくれて、その顔を見てすごい安心しました。公成がお母さんのところに行ったので僕もおじさんの車を出ました。そ

の瞬間、公成が、

「津波だ！」

と叫んだので下の道路を見たら黒く低い波が見え、そしてすぐに大きな黒い波が迫って来ました。

あの大きな波を見た途端、僕は頭の中が真っ白になり、気がつくと水は膝くらいまで来ていて僕は流されました。水の勢いで草むらを転がされ、どんなふうに流されたかは覚えていません。気づくと僕は川の中にいました。不思議と水の冷たさは感じませんでした。川の中を流されている時、瓦礫に挟まれ水面に顔を上げることができなくてとても苦しく、（もう駄目だ）と思いました。しかし、一度深く潜って水面を目指したら、瓦礫も何もない所へ出る事ができました。近くに流れていたタイヤに掴まることができ、電線や瓦礫にぶつからないように一

生懸命泳ぎました。

河口の方に流されている僕に、避難していたおばあさんたちが、

「そっちに行っては駄目だ。こっちへ来い！」

と一生懸命呼びかけてくれていたことを後から知りました。僕にはおばあさんたちの声は聞こえませんでした。僕は声のする方に泳いでいたそうです。僕は何とかして残っていたよその家の屋根の上に上りました。僕は「誰かいないか」と大声で叫んだけど、何も反応がなく、公成たちの事も心配だったし、1人でとても不安でした。どのくらい時間が経ったかわかりませんが、うとうとと眠りそうになりました。突然、僕の名前を呼ぶ声が聞こえ、僕も公成の声だとすぐにわかったので、公成の名前を呼び返しました。公成の声を聞いた時はとても安心しまし

た。

しばらくすると、僕がいた家の人に来て、

「今助けるから待ってろ」

と言われ、僕はずっと待っていました。待っていた時間は30分くらいだったと思いますが、助けてもらうまでの時間はとても安心しました。2階の窓が開き、おじさんとおばさんが僕を引き上げてくれた時、(助かった)と思いました。家の中に入れてもらい、服を着替えさせてもらった僕は寒さと恐怖で体の震えが止まりませんでした。そして、おじさんから、

「あそこの家は津波の被害がないし、みんないるからそこに行きなさい」

と一番高台にあった家を教えられたので僕はそこに行きました。そうしたら公成とそのお母さんや近所の人たちもたくさんいてすごく安心しました。

僕はおじさんとおばさんに偶然助けてもらったと思っていましたが、実はそのおじさんたちも逃げている時、車が流されてしまい、諦めかけていた時、流されている僕を見つけ何とか助けなければと思い、車の窓を開け浮いている車を手で漕いで僕の所へ向かったと母から聞かされました。僕はおじさんに教えてもらった家で一緒にいた人たちに手当をしてもらい、そのままひと晩過ごさせてもらいました。その夜は家族の事が心配でとても不安でしたが、公成がいてくれたので心強かったです。

夜が明けて朝になるとお世話になった家に男の人が来て、

「生存者がいるかもしれないから助けるの手伝って」

と言われ僕と公成は手伝いに行きました。助けに行く途中、亡くなった人がたくさ

んいて、もう毛布やビニールがかけられている人や何もかけられていない人がいました。僕は車の中にいた人に声をかけたりして手伝いました。中には足にひどいけがをしている人もいました。

僕はお世話になった家に戻って公成とそのお母さんと4人で浅井の避難所に向かいました。避難所で僕はすぐに避難者名簿を見ましたが、名簿には家族の名前がなく（どうしよう）と思いました。が、親戚のおばさんが僕を見つけてくれて、

「一緒にいなさい」

と言ってくれたので少し安心しました。時計がなかったので時間がわかりませんでした。が、しばらくして消防の人に連れられて中下の避難所に行きました。そこへ祖父母が来て、再会することができました。祖父母の顔を見て僕は本当に安心しました。祖父母も僕のことをとても心

配っていて、僕は会った瞬間、泣いて喜んでいました。

それから30分くらいしてから母が探しに来てくれました。母も友だちの家や小学校、お寺などいろんな所を探し回り、お寺で平山先生が僕が浅井の避難所にいることを聞き、急いで来たと言っていました。

家族がみんな、別々の場所で被災したのに浅井の避難所で全員が会えたのは奇跡だと思いました。

(2012. 1. 20.)